

**JP 5-271629**  
**PATENT FAMILY AND ABSTRACT SEARCH**

? s pn=jp 5271629

S2 1 PN=JP 5271629  
?

t 2/9/1

2/9/1  
DIALOG(R)File 351:DERWENT WPI  
(c)1999 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

009671919

WPI Acc No: 93-365471/199346

XRAM Acc No: C93-162162

Pressure sensitive adhesive tape - where adhesive layer surface has been  
spray printed using ink jet or bubble jet process

Patent Assignee: WATANABE J (WATA-I)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Main IPC	Week
JP 5271629	A	19931019	JP 92119487	A	19920327	C09J-007/02	199346 B

Priority Applications (No Type Date): JP 92119487 A 19920327

Patent Details:

Patent	Kind	Lan	Pg	Filing Notes	Application	Patent
JP 5271629	A		3			

Abstract (Basic): JP 5271629 A

A pressure sensitive adhesive tape in which the adhesive layer(s)  
has been spray printed, e.g. by ink jet or bubble jet process with  
non-adhesive material e.g. by ink jet or bubble jet process with  
non-adhesive material or another pressure sensitive adhesive.

USE/ADVANTAGE - Various patterns and letters can be printed on  
adhesive surface(s). The obtd. tape can display various printed  
patterns and designs for a long period with less deterioration when  
applied to adherends. Parts having different adhesion strength, can be  
easily formed on the original pressure sensitive adhesive layer.

Dwg. 1/2

Title Terms: PRESSURE; SENSITIVE; ADHESIVE; TAPE; ADHESIVE; LAYER; SURFACE;  
SPRAY; PRINT; INK; JET; BUBBLE; JET; PROCESS

Derwent Class: G03

International Patent Class (Main): C09J-007/02

File Segment: CPI

Manual Codes (CPI/A-N): G02-A05D; G03-B04

?

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-271629

(43)公開日 平成5年(1993)10月19日

(51)Int.Cl.<sup>4</sup>

C 0 9 J 7/02

識別記号

J KM

J KN

庁内整理番号

6770-4J

6770-4J

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-119487

(22)出願日 平成4年(1992)3月27日

(71)出願人 592101817

渡辺 純

神奈川県藤沢市湘南台3丁目3番10号

(72)発明者 渡辺 純

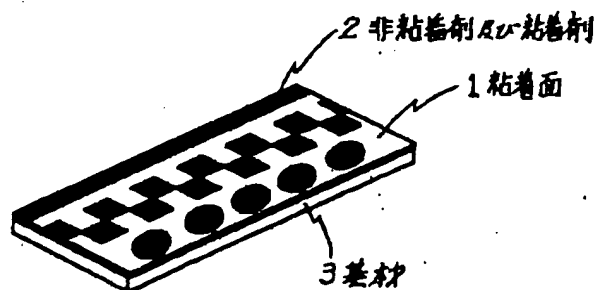
神奈川県藤沢市湘南台3丁目3番10号

(54)【発明の名称】 粘着面吹付け印刷粘着テープ

(57)【要約】

〔目的〕 粘着テープの粘着面1に、インクジェットやバブルジェット等で非粘着剤及び粘着剤2を、文字や記号や図形などいろいろなパターンで吹付け印刷した粘着面吹付け印刷粘着テープで、一つの粘着面1に非粘着部や強粘着部や弱粘着部を設けることを目的とする。

〔構成〕 粘着テープの粘着面1に、非粘着剤及び粘着剤2を吹付け印刷した粘着面吹付け印刷粘着テープである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】粘着テープの粘着面に、非粘着剤を吹付け印刷した粘着面吹付け印刷粘着テープ。

【請求項2】粘着テープの粘着面に、粘着剤を吹付け印刷した請求項1記載の粘着面吹付け印刷粘着テープ

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、粘着テープの粘着面に、インクジェットやバブルジェット等で非粘着剤及び粘着剤を、文字や記号や図形などいろいろなパターンで吹付け印刷して一つの粘着面に非粘着部や強粘着部や弱粘着部を設けた粘着面吹付け印刷粘着テープに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、粘着テープの粘着面の一部に紙やフィルムを貼りつけたり、粉をまぶして粘着面の一部を非粘着とするのりごろし加工をしたテープがあった。

【0003】

【本発明が解決しようとする課題】従来、非粘着部に紙やフィルムを貼りつけたものは、非粘着部の寸法精度を上げるには製造管理がたいへんである、特に非粘着部を柵目などのように自由な形のものを量産することは容易ではない、紙やフィルムの方だけ厚くなりロール状にすると巻きが不安定である、非粘着部に粉を使用したものは余分な粉まで付着してしまうので使用範囲が狭い、等の問題点があった。このような課題を解決するために本発明はなされた。

【0004】

【課題を解決するための手段】粘着テープの粘着面1に、非粘着剤及び粘着剤2を吹付け印刷した粘着面吹付け印刷粘着テープである。

【0005】

【作用】非粘着部を柵目模様などいろいろなパターン化できるので、一つの粘着面1に粘着部と非粘着部を高精度に多数設けることができる。粘着剤の場合は、強粘着剤や弱粘着剤のものをを用いたり、厚みの変化をつけることができる。

【0006】いろいろなパターンの中で、粘着面1の色と異なる非粘着剤及び粘着剤2を文字のパターンで吹付け印刷するとこれ自体表示体となり、物に貼ると文字が基材3で保護され、こすってもパターンがかすれない表示体ラベルとなる。

【0007】

【実施例】図1は、本発明の実施例1の斜視図であって、粘着テープの粘着面1に、非粘着剤及び粘着剤2をいろいろなパターンで吹付け印刷した粘着面吹付け印刷粘着テープである。粘着剤の場合は、強粘着剤や弱粘着剤のものをを用いたり、厚みの変化をつけることができ、いろいろな粘着力部を一つの面に高精度に多数設けることができる。

【0008】図2は、本発明の実施例2の斜視図であって、粘着テープの粘着面1に、粘着面1の色と異なる非粘着剤及び粘着剤2を、文字のパターンで吹付け印刷した粘着面吹付け印刷粘着テープである。これ自体表示体となり、物に貼ると文字が基材3で保護され、こすっても文字がかすれない表示体となる。粘着面1、基材3の透明不透明によって文字の見える側が決まる。

【0009】両面テープの場合、裏表にできるので多種多様の用途がある。シート状の場合、多種多様の用途がある

【0010】

【発明の効果】本発明にはつぎのような利点がある  
20 非粘着部を柵目模様などいろいろなパターン化できるので、一つの粘着面1に粘着部と非粘着部を高精度に多数設けることができる。粘着剤の場合は強粘着剤や弱粘着剤のものをを用いたり、厚みの変化をつけることができる。以上のことから、一つの面で仮止めの部分と長期粘着部分を設けることができる、多種の物を粘着し一つずつ取り外す工程等の治具として使用できるので設備を簡素化できる、配線の固定がきれいにまとまる、両面テープでは裏表にそれぞれ異なるパターンを設けることができるので多種多様に利用できる、通常非粘着剤及び粘着剤2の厚みは紙やフィルムに比べてかなり薄いので容易にロール状にできる、等の利点がある。

【0011】文字や記号や図のパターンで吹付け印刷したものはこれ自体表示体となり、物に貼ると文字が基材3で保護され、こすっても文字がかすれない安価で構造簡単な表示体ラベルとなる

## 【図面の説明】

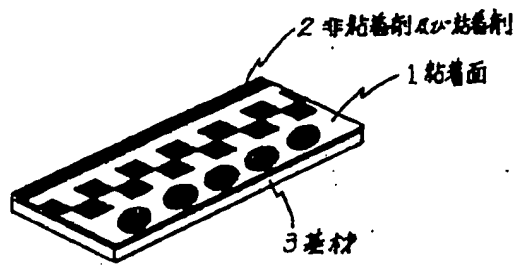
【図1】本発明の実施例1の斜視図である。

【図2】本発明の実施例2の斜視図である

## 【符号の説明】

- 1 粘着面
- 2 非粘着剤及び粘着剤
- 3 基材

【図1】



【図2】

